

小野市議会だより

Ono city assembly

2009

2

No.135



第357回 12月定例会

一般質問

- | | |
|----------|---------|
| まつもとあきのり | ほりいかずみ |
| ・松本哲昇 | ・掘井算満 |
| すすがきはじめ | いのうえひよし |
| ・鈴垣元 | ・井上日吉 |
| いしだきくお | やまなかおさみ |
| ・石田喜久男 | ・山中修己 |
| かわなよしそ | かわいとしひこ |
| ・川名善三 | ・河合俊彦 |
| かしまじゅん | |
| ・加島淳 | |

議案質疑

- | | |
|----------|---------|
| かわしまのぶゆき | よしだしげひろ |
| ・河島信行 | ・吉田成宏 |
| おかしままさあき | |
| ・岡嶋正昭 | |

議会傍聴

12月定例会 57人

鴨池より届けます

今年も元気にカモが飛来!!

“ホット一息”羽を休めています

2月下旬には、北帰行が始まります

12月定例会終わる

- こんなことが決まりました…… 2～3
一般質問・質疑発言者…………… 4
一般質問・質疑について…………… 5～10
常任委員会審査報告…………… 11
議会の動き…………… 12

12月定例会

こんなことが決まりました。

12月定例会は、12月1日から19日まで19日間開催しました。一般会計補正予算をはじめ、条例制定及び人事案件などを含む議案20件を原案のとおり、可決・同意しました。



新設された条例

小野市環境基本条例の制定について
環境保全の基本理念を定め、市、事業者、市民の責務及び基本方針を定めるため。今後、この基本条例に基づき、「環境基本計画」を策定します。

一部改正された条例

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
病院医師等の宿日直手当を改正し、処遇の改善を図るため。併せて学校に勤務する「用務員」の職名を「学校校務員」と変更するため。

小野市税条例の一部を改正する条例の制定について

平成20年4月30日公布された税制

改正に伴い、平成21年4月1日以降の施行分についてそれぞれ改正するため。主なものは寄付金税制の見直し、上場株式の譲渡益及び配当所得に対する課税の特例措置等を定めるため。(反対討論あり)

小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

国民健康保険に加入する65歳から74歳までの世帯主に対し、国民健康保険税の年金からの天引きによる特別徴収を行うため。

小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

産科医療補償制度の創設に伴い、この制度に加入する分娩機関で出産した場合に、出産育児一時金の給付額(現行・35万円)に3万円を上限として加算した額を給付する必要がある。

あるため。
平成21年1月1日の出産から適用する。

主な議案

小野市立老人福祉センターの管理に係る指定管理者の指定について

平成21年4月1日から平成26年3月31日まで

小野市王子町801番地
社会福祉法人小野市社会福祉協議会
会長 友定隆男を指定管理者とするため。

小野市都市公園・小野市公園・小野市白雲谷温泉ゆびか・小野市屋外運動場・小野市総合体育館・小野市匠台公園体育館の管理に係る指定管理者の指定について

平成21年4月1日から平成26年3月31日まで

小野市王子町917番地の1
財団法人小野市都市施設管理協会
理事長 小塩慶明を指定管理者とするため。

小野市立鴨池休憩所の管理に係る指定管理者の指定について

平成21年4月1日から平成26年3月31日まで

小野市王子町806番地の1
小野市観光協会 会長 井上昇一を
指定管理者とするため。

**小野市伝統産業会館の管理に係る指
定管理者の指定について**

平成21年4月1日から平成26年3月
31日まで

小野市王子町800番地の1

小野商工会議所 会頭 長谷川英治郎
を指定管理者とするため。

訴えの提起について

滞納者2名がそれぞれ第三者債務
者である東京都千代田区のアコム株
に対して有する3,223,022円
の不当利得返還請求権及び年5分の
利息を差し押さえ、その支払いを求
める訴えを提起するため。

**字の区域の変更について(小野市王
子南土地区画整理事業に係るもの)**

小野市王子南土地区画整理事業の
施行に伴い、区域内の字の変更が必
要なため。

小野市教育委員会委員の任命について

現委員の久後義晴委員及び岡田淳子
委員の任期が平成20年12月21日で満
了となるため、その後任として富田益
子氏及び青木百合子氏を任命するため。

平成19年度の 各会計決算が認定されました

- 平成19年度小野市歳入歳出決算の認定について
- 平成19年度小野市都市開発事業会計決算の認定について
- 平成19年度小野市病院事業会計決算の認定について
- 平成19年度小野市水道事業会計決算の認定について
- 平成19年度小野市下水道事業会計決算の認定について

平成20年度小野市一般会計補正予算
(第3号)

補正額 8,700千円の追加
総額 18,622,300千円

平成20年度小野市介護保険特別会計
補正予算(第2号)

補正額 1,575千円の追加
総額 3,005,868千円

平成20年度小野市水道事業会計補正
予算(第2号)

資本的支出 7,000千円の追加

補正予算の主な内容

今回の補正は、小野中学校校舎改築の早期着工(当初計画では、平成22年度着工予定を、平成21年度に前倒し)のための工事車両進入路の整備等の周辺の整備をはじめ、要介護認定業務変更に伴うシステム改修等の介護保険特別会計への繰出し、国重要文化財である浄土寺黒漆蝶形三足卓(じょうどうじ こくしつちょうがたみつあししょく)の修理にかかるとの補助等の補正を行うものです。



校舎改築予定の小野中学校

(単位：千円)

	内 容	補 正 額	補正後
新規	◆小野中学校校舎改築事業 工事用進入路設置工事	4,000	4,000
新規	◆小野中学校校舎改築事業 実施設計(債務負担行為)	平成21年度 債務負担行為	限度額 15,000
新規	◆国重要文化財改修事業 浄土寺 黒漆蝶形三足卓(こくしつちょうがたみつあししょく)の修理に対する助成(国庫補助事業)	400	400
新規	◆自主防災組織への防災資機材整備事業 地域の防災活動に必要な資機材の購入に対する助成	500	500
追加	◆介護保険特別会計繰出金 要介護認定業務の変更に伴うシステム改修(国庫補助事業)	1,271	465,050



(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

平成20年 12月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス：<http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/>

一般質問発言者

松本哲昇 議員

- ・給食残菜及び調理廃棄物の処理について
- ・学校施設整備について
- ・一般廃棄物最終処分場の運用について

堀井算満 議員

- ・市簡易耐震診断推進事業実施要綱による耐震診断について
- ・学校林の復活について
- ・旧堀井構居(城跡)の整備について

鈴垣 元 議員

- ・仮称「北播磨総合医療センター」構想について

井上日吉 議員

- ・妊婦の健診について
- ・エコ公用自転車の導入について
- ・義務教育期間の医療費の無料化について
- ・学校給食の食材について

石田喜久男 議員

- ・兵庫県住宅再建共済制度(フェニッ

- クス共済)について
- ・ノーマライゼーションとバリアフリーについて
- ・路地の整備について

山中修己 議員

- ・新型インフルエンザ対策について
- ・ホテル建設について
- ・市内公園の遊具管理について

川名善三 議員

- ・定額給付金について
- ・就労支援について
- ・自治体による携帯電話のリサイクル推進について

河合俊彦 議員

- ・観光資源の有効活用について
- ・住宅政策について

加島 淳 議員

- ・小野の南部地域の将来ビジョンについて
- ・国際交流について

質疑発言者

河島信行 議員

- ・議案第76号 平成20年度小野市一般会計補正予算(第3号)
- ・議案第79号 小野市環境基本条例の制定について

吉田成宏 議員

- ・議案第79号 小野市環境基本条例の制定について
- ・議案第81号 小野市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第82号 小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議案第83号～第91号 指定管理者の指定について

岡嶋正昭 議員

- ・議案第76号 平成20年度小野市一般会計補正予算(第3号)
- ・議案第80号 一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について





清風クラブ

松本 哲昇 議員

したい。
(教育次長)

給食残菜・調理廃棄物について

質問 発生する給食残菜、1日の量は？

答弁 調理発生時240kg、食べ残しが110kg、合計350kg。食べ残しについては食育教育を通じて減らす努力をしています。(教育次長)

質問 環境問題を意識して、給食廃棄物の堆肥化は出来ませんか？

答弁 他市で取り組みをしていると聞いている。堆肥化にかかる費用を考慮して研究していきたい。(教育次長)

学校施設整備について

質問 小野中学校の改築について、一部変更に伴う地元説明が、設計発注前に必要では？

答弁 できる限り事前に地元説明を行い、設計に反映できる取り組みを

質問 改修によって改築時期が延びる市場小学校の環境整備に対して、別棟の建設が必要と考えられるが？

答弁 改築した小学校と比べるとランチルームは無く、多目的教室も少ないが、学校関係者と授業の組み立て等を考慮しながら、必要であれば別棟の建設を今後検討します。(教育次長)

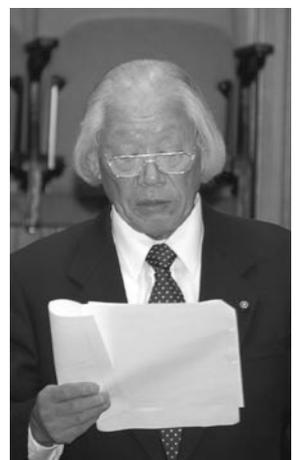
一般廃棄物最終処分場について

質問 個人持込みの建築廃材に含まれる非飛散性アスベストの処理方法は？

答弁 現場管理者に注意を払うよう指導していく。(市民安全部次長)

質問 個人が持込む建築廃材の量規制を実施すれば産業廃棄物として処理され、処分場の適正管理が促進されると思いますか？

答弁 量の規制は、考えていません。(市民安全部次長)



新生クラブ

堀井 算満 議員

市簡易耐震診断推進事業実施要綱による耐震診断について

質問 昭和56年5月31日以前の旧建築基準法による木造住宅の棟数と要綱による耐震診断の状況及び補強工事の進捗の状況及び補強工事に対する助成制度の創設は如何に。

答弁 旧法による木造住宅は、約4,800棟あり、その内要綱に基づく耐震診断を受けているのは僅か37件、受診率が大変低いので、今後制度のPRを市広報等を通じ積極的に実施し、受診率の向上を図りたい。(地域振興部長)

質問 補強工事の助成制度の創設については、地震対策事業の一連の施策として、県が実施している住宅再建共済制度の加入状況を勘案して今後の課題としたい。(市長)

答弁 補強工事の助成制度の創設については、地震対策事業の一連の施策として、県が実施している住宅再建共済制度の加入状況を勘案して今後の課題としたい。(市長)

質問 掘井城跡の文化財調査と整備計画について

質問 学校林の設置復活についても質問しました。

質問 文化財としての城跡は、どの程度の調査が完了しているのか、また、今後の調査予定と具体的な整備計画は整っているのか。

答弁 平成5年に所有者からの要請により、市文化財担当職員による調査を実施しているが、この度、所在地長より繁茂している竹、雑木の伐採依頼があり、伐採作業も完了したので、この機会に字構の部分を更に制度の高い調査実施すべく準備を進めている。なお、字外堀については地権者のご協力が得られるならば実施したい。整備計画については、調査結果を踏まえ検討いたしますが、中世の城郭公園としての整備も意義深いものと思っているが、整備にあたっては、地元のご意見を十分徴して検討したい。(教育次長)

その他

質問 学校林の設置復活についても質問しました。



日本共産党
鈴木 垣 元議員

**仮称「北播磨総合医療センター」
構想について**

十一月に打ち出された、小野・三木両市民病院を統合し、小野・市場の「長寿の郷」予定地に新病院を建設する構想を質しました。

質問 当初、両病院統合案が示された時は、①財政負担が過大なこと。

②神野に建設中の県立新加古川病院の影響程度が不明であること等を理由に、早期統合は困難とされてきた。どう克服されたか。

答弁 ①では当初、大学側の話では病床数400から450として、200から250億円程度必要とのことでした。この度の構想130億円の内訳は、病床数400に国基準の2千万円を掛け、建設費80億円、付帯設備10億円、医療機器20億円、用地造成費15億円、情報システム費5億円としている。②の影響では、当初、診療内容と機能が競合し、患者

動向や医師引き上げなどの影響が懸念されたが、三次救急医療を核とする県立病院と二次救急までと考えている新病院のすみわけが可能であると判断した。病院経営も含め、協力・連携を図っていきたい。

(市民病院事務部長)

質問 新病院は神戸大学系列の中核病院として「総合医の育成ができ」、「各地域へ医師を派遣できる病院」とされており、高度な医療を提供する病院のイメージが強いが、現市民病院が果たしている役割も充分担えるのか。

答弁 新病院の診療科目は20科を想定しており、三木市民病院の循環器、脳卒中、小野市民病院の消化器、糖尿病、小児科に産科を加えることにより、地域の念願であった周産期医療の実現など総合的な医療が提供できるものと考えている。当然、今の病院機能は保ちつつ、北播磨医療圏にとっても安全・安心の医療体制を築く事ができる病院を目指したい。

(市民病院事務部長)



新生クラブ
井上 日吉議員

質問 妊婦の検診について

答弁 妊婦健康診査費助成を平成十八年度から開始し、妊婦初期からの受診を促進するため、助成内容を充実に最大五回、三五、〇〇〇円を上限に回数・助成額を充実させました。そして、三五、〇〇〇円以上助成している市は県下で、四市であり、かつ所得制限なしは、小野市のほか二市(豊岡市、丹波市)だけで小野市の助成額は充実している。また、国の補助制度が確定した折には、助成内容の拡充、拡大について検討してまいります。

(市民福祉部長)

質問 義務教育期間の医療費無料化について

答弁 小野市は県下でも数少ない小学校六年生までの医療費の完全無料化を既に実施していますが、今、百年に一回あるかないかの世界的な大不況で、世間では派遣社員の失業者

が一人も出ている。市民の方々も大変困っているでしょうから、経済対策として、決断して、やります。中学校三年生までの医療費を完全無料化にします。ただし、期限付き三年間で、経済状況が変われば継続を考える事もある。また、コンビニ感覚での受診、救急車の不正な利用は自粛してほしい。実施時期は、平成二十一年四月一日からです。(市長)

質問 学校給食の食材について

答弁 地産・地消の推進を進める中で、主食の米は純小野市産100%です。その他の惣菜は十二品目中で七品目が小野市産で、今後は更に地産・地消を推進するために、昨年11月にJAと市産業課、学校給食センターの三者が会合し、学校給食における地産・地消導入検討委員会をPTAや保護者、学校を加えて、平成二十一年三月までに立ち上げ、安全で安心な惣菜の供給のシステムを構築してまいります。

(教育長)



明政クラブ

石田喜久男 議員

（市民安全部長）

兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）について

質問 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、全国に先駆けて創設された住宅再建共済制度（フェニックス共済）。

三年たった今、小野市の加入者は、約十五％、加入者あってこそその共済ですから、加入者が増えなければと考えます。勧誘すべてを自治会長に委ねるのではなく、自治会長は人集め・勧誘の機会づくり、いい制度であるとの説明は担当課が出向いて行うことが望ましいと考えますが如何でしょうか。

答弁 書類等の配布だけではなく、色々な機会に説明をしてきた。今後、自治会等から要請があれば担当者派遣するなど、あらゆる機会を通じて普及・啓発を行ってまいります。

路地の整備について

質問 市は、幅二メートル以下の路地の整備はしないとのことですが、「集落内の路地」は幅が狭くても、そこに暮らす市民にとっては大切な生活道です。

この生活道である「集落内の路地」を幅が狭いからとの理由で、整備しないのは不適切であり、幅に関係なく、車椅子の通行や歩行に支障のないよう、市の事業として整備すべきであると思いますが如何でしょうか。

答弁 幅二メートル以下の路地の安全対策等の整備については、現在進めている、生活道路の整備が終わった段階で全市的に検討する。

（地域振興部長）



市民クラブ

山中修己 議員

新型インフルエンザについて

質問 日本で発生すると、39万人が死亡すると言われている新型インフルエンザに対する市の対策を問う。

答弁 市ではホームページを厚生労働省ホームページとリンクさせ、「新型インフルエンザ情報」が確認できるようにしております。また基本的な予防対策としては、平素からうがい、手洗い、マスクの励行をはじめ、食糧・水・日用品の確保・備蓄が大切です。いずれにしても県が年度内に新しい計画を作成され、市町の役割が示され次第、具体的な内容を検討したいと考えております。

（市民福祉部長）

市内公園の遊具管理について

質問 自治会が管理している公園の管理について問う。

答弁 自治会の管理している公園は、3月末時点で115あります。このうち平成19年度から子育て支援の一貫として「まちの子育て広場整備交付金事業」を創設し、この事業で実施された約30ヶ所については市は管理状況や整備状況を確認しています。自治会の維持管理の状況は、各自治会の取り組みに大きな差があります。最近、特に遊具の事故が報道されており、市として自治会での公園のあり方も、助言すべきと考えています。この事業の実施にあわせ、管理指導しておりますが、自治会が維持管理していけるようなシステムづくりまで考えて、指導していきたいと思っております。

答弁 2件の質問とも議員はリスクマネジメントに対する市の考え方を問われていると思います。企業でいうPM管理、つまり予防保全です。市では絶えず後手ではなく、先手管理でシステムを考えていくように言っています。

（市長）



公明党
川名善三議員

定額給付金について

質問 小野市での総額は

答弁 総務省よりの実施原案による対象者は「住民基本台帳に記載されている者」及び「外国人登録原票に登録されている者の内一定の者」で給付額は世帯構成員一人につき1万2千円、但し基準日において65歳以上及び18歳以下の者については一人2万円とされており、小野市での給付金総額は対象者合計50、065人でおよそ7億6千万円となります。
(総務部長)

質問 実施計画は

答弁 先週末に兵庫県下の市及び町に対する説明会が開催された。これを受け当市においても想定される問題点の対応や課題の整理、具体的な交付方法など早急に検討していくこととしています。現在のところ具体的な実施計画は定めていないが、全庁的に取組み政府目標である年度内

実施に向け給付金の支給が円滑に行えるよう取組みます。
(総務部長)

質問 定額給付金に対する認識は

答弁 小野市では国の給付金に先行して独自の支援金制度(特別生活支援金)を実施している。この度の政府の追加経済対策の柱とされている「定額給付金」については確かにマスコミを含めその効果を疑問視するなど、いろいろな議論があることを承知しております。しかしながら、昨今の景気低迷、諸物価の高止まり所得の伸び悩み、雇用情勢の悪化など、100年に一度と言われる未曾有の大不況が今後益々深刻化し、地方経済へも悪影響を及ぼすことが予想されます。このような状況を考えると政府としても何らかの政策を打ち出す必要があり、今回の定額給付金がやり繰りが厳しくなっている市民一人ひとりの家計を応援し、少なからずプラス面での影響を生み、消費を押し上げる効果は間違いなくあると思っております。
(市長)



市民クラブ
河合俊彦議員

観光資源の有効活用について

質問 浄土寺周辺整備計画について

答弁 浄土寺及び浄土寺周辺の景観や眺望を保全するための施策を視野に入れ、観光客をもてなすための休憩所を兼ねた農産物の販売施設等について、今後、具体的に検討を進めてまいりたいと考えております。
(地域振興部長)

質問 浄土寺西に位置するため池整備計画について

答弁 平成12年度から県営ため池整備事業に着手し、「国宝浄土寺」から「ひまわりの丘公園」を結ぶ散策道の設置や、堤体に浄土堂をかたどったレリーフの設置等、環境整備を実施してまいりました。今後は、「花木の植栽」や、「水辺空間の健全な保全」を地域住民が一体となつた取組みが必要と考えます。市といえども、新たな観光資源となるよう積極的に指導と助言を行って

まいります。
(地域振興部長)

質問 小野ひまわり市民農園整備計画について

答弁 今後の整備計画につきましては、平成21年度に24区画を新しく設置する予定であり、併せて休憩所やトイレ、駐車場を整備いたします。
(地域振興部長)

質問 観光PRとイベント企画について

答弁 観光資源を生かし、効果的な観光PRを実施するには、観光コンセプトを明確にする必要があると考え、現代、「観光振興プラン」の策定に取り組んでいます。
(地域振興部長)

住宅政策について

質問 市営住宅整備計画策定について

答弁 雇用促進住宅の取り扱いが確定していないため、方向性を見極めながら、人口の推移や財政状況などあらゆる方面から整備計画をまとめたかと考えています。
(地域振興部長)



新生クラブ

加島 淳 議員

国際交流について

小野の南部地域の将来ビジョンについて

質問 小野工業団地の拡張計画は

答弁 詳細は未定だが、工業団地の東側30haを予定している。新都市中央線の整備と並行して考えていく。

質問 新都市中央線の進捗状況は

答弁 平成25年春の新病院の開業に向け、早期着工をと関係機関と協議中である。

質問 広島築堤の進捗状況は

答弁 平成20年度末で、事業費ペースで62、8%の進捗が図られる。今年度末で形状が明確になる。

質問 南北道路の進捗状況は

答弁 加古川バイパス（八幡南）までは、来秋一部供用開始。八幡南（八幡北）までの供用開始は平成30年以降。小野市域は今のところ公表できる状況に至っていない。（井上副市長）

質問 35周年を迎えるリンゼイ市との交流活動は

答弁 昭和48年姉妹都市提携以来、小野市から延べ350名が、リンゼイ市から260名が互いの市を訪問した。また、交換教師の相互派遣は昭和60年から始まり、平成17年までの間、当市から20名、リンゼイ市から24名が当市を訪れ、一定の成果を挙げ終了した。平成16年から、子供たちの絵画の交換が始まり、現在も充実した交流活動を展開している。

質問 国際交流協会の活動は

答弁 当市には現在21カ国700名が住まれている。今後多文化共生事業に力を注ぎ、協会の役割もますます多様化すると考える。（総務部長）

質問 今後新たな姉妹都市提携の考えは

答弁 新たな姉妹都市は前向きに考えていきたい。（市長）



新生クラブ

河島 信行 議員

議案質疑

・市内すべての学校の改築、耐震補強工事等は計画のとおり進めます。（教育次長）

平成20年度小野市一般会計補正予算(第3号)について

質疑 補正額400万円の具体的内容及び小野中学校校舎改築事業委託料1、500万円の具体的内容について

答弁 ・補正額400万円は、小野中学校改築工事用進入路の造成費等です。具体的には、建物2棟約120㎡の撤去、及び地盤約600㎡の整備費用です。・補正額1500万円は、同じく小野中学校改築にかかる実施設計委託費用です。・工事期間は、『学校整備中期計画』よりも1年前倒しして、1年早く平成21年度工事に着工します。・工事箇所の順序は、校舎、体育館、運動場です。・完成は1年早くなります。

小野市環境基本条例の制定について

質疑 環境審議会委員の構成及び市民の責務の内容について、並びに環境基本計画の策定スケジュールについて

答弁 ・学識経験者、市議会議員、市民組織の代表者、市その他関係行政機関の職員等（16名以内）・具体的には、洗剤の適正使用、節水、家庭ごみの減量化、マイカーの使用抑制、ごみやタバコのポイ捨て防止、地域におけるリサイクル運動への参画などが考えられます。・現在、「市民アンケート」（対象者は市民、事業所、児童・生徒）を実施しています。（市民安全部次長）



議案質疑

清風クラブ

吉田成宏議員

質疑 市税条例の一部改正(公的年金所得に係る市民税特別徴収)の具体的内容とそのメリットについて

答弁 本年4月公布の改正地方税法の規定により、①65歳以上の年額18万円以上の公的年金受給者は、年金所得に係る市民税を特別徴収(年金天引き)により納付すること。②天引きによる特別徴収は、所得税・介護保険料・国保税(支払保険料の2分の1が上限)・住民税の順となる(住民税は上限なし)がその骨子。納付の期間が省けること、年金支払報告書が電子化されるので課税データ作成の効率化がメリットと言える。特別徴収は平成22年から、他市より1年遅く先行事例を検証しながら制度の周知を図り混乱をなくしたい。(総務部長)

質疑 国民健康保険税条例の一部改正のポイントについて

答弁 ①世帯主が65歳以上74歳未満の公的年金受給者を対象に特別徴収を行う。世帯主がその財産につき災害により重大な被害を受けた場合や、過年度分の滞納がある場合などの特別な事情があると認められる場合は適用されない。
②次の4つに該当する場合、特別徴収は行われない。
ア、世帯主の年間年金額が18万円未満の場合、
イ、国保税が介護保険料と合わせて年金額の2分の1を超える場合、
ウ、世帯内に65歳未満の国保被保険者がいる場合、
エ、普通徴収の納付実績のある方が口座振替の納付による場合でありません。(市民福祉部長)

その他2項目についても議案質疑を行った。
・小野市環境基本条例の制定について
・指定管理者の指定について



議案質疑

市民クラブ

岡嶋正昭議員

一般会計補正予算

質疑 小野中学校の工事請負費、400万円の内容について

答弁 工事用進入路の造成費で建物2棟約120㎡の撤去・地盤約600㎡の整備にかかる費用です。(教育次長)

質疑 小野中学校校舎改築事業の委託料、1,500万円の内容について

答弁 国は、大規模地震による倒壊等の危険性の高い施設(IS値0・3未満)の耐震化について、平成23年度までに完了を目標としています。小野中学校の耐震化について計画よりも1年前倒し、平成21年度工事で着手となった。実施設計・建築確認手続きなどの期間を考慮し、平成21

年1月から設計を手がけていく必要がある為、今回の補正予算となった。(教育次長)

質疑 一般職員の給与(宿日直手当)の一部改正について

答弁 このたびの改正は、看護師の管理当直料5,900円を9,000円に・医師宿日直手当20,000円を35,000円にそれぞれ改正を予定しています。

この改正は、昭和52年以来30年余り改正していなかったため近隣市との調整を含めての改正となっております。

改正により医療スタッフのモチベーションを高めると共に、ひいては患者サービスの向上に繋がるものと考えております。

(市民病院事務部長)



地域振興常任委員会（委員長 山中修己）

12月定例会の提出議案審査付託について、12月17日、総務文教、民生保健、地域振興、各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、議案第76号から第93号、第95号までの計19議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査をいたしました。

各委員会とも採決の結果、全議案について全員賛成により、可決すべきとした審査結果をまとめました。各委員会に付託された議案は、次のとおりです。

常任委員会 審査報告

【総務文教常任委員会】

（付託された議案）

- 第76号 平成20年度小野市一般会計補正予算（第3号）
- 第80号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第81号 小野市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 第89号 小野市屋外運動場の管理に係る指定管理者の指定について
- 第90号 小野市総合体育館の管理に係る指定管理者の指定について
- 第91号 小野市匠台公園体育館の管理に係る指定管理者の指定について
- 第92号 訴えの提起について

採決の結果、全議案について全員賛成により可決すべきと決まりました。

【民生保健常任委員会】

（付託された議案）

- 第76号 平成20年度小野市一般会計補正予算（第3号）
- 第77号 平成20年度小野市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 第79号 小野市環境基本条例の制定について
- 第82号 小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 第83号 小野市立老人福祉センターの管理に係る指定管理者の指定について
- 第95号 小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

採決の結果、全議案について全員賛成により可決すべきと決まりました。

【地域振興常任委員会】

（付託された議案）

- 第78号 平成20年度小野市水道事業会計補正予算（第2号）
- 第84号 小野市都市公園の管理に係る指定管理者の指定について
- 第85号 小野市公園の管理に係る指定管理者の指定について
- 第86号 小野市白雲谷温泉ゆびかの管理に係る指定管理者の指定について
- 第87号 小野市立鴨池休憩所の管理に係る指定管理者の指定について
- 第88号 小野市伝統産業会館の管理に係る指定管理者の指定について
- 第93号 字の区域の変更について（小野市王子南土地区画整理事業に係るもの）

採決の結果、全議案について全員賛成により可決すべきと決まりました。

なお、審査する過程において次のような意見がありました。

議案第85号について、「今後、実施される土地区画整理事業において、計画される都市公園の管理は、地域の方が主に利用されることから、計画段階から地元と協定を文書で交わし、通常管理を委託できるような取り組みたい。」

議案第86号について、「小野市白雲谷温泉ゆびかの水質管理については、利用者が安心して安全に利用できるよう、今後も引き続き良好な水質管理に努められたい。」

議案第88号について、「小野市伝統産業会館内に設置している、ハローワークの掲示物等については、利用者の目につきやすい場所等へ変更するなどの対応を検討されたい。」

審査報告とは…

議会の意思決定は、最終的には本会議で決められますが、効率的、専門的に審議するため、少数の議員で構成する委員会を設けています。委員会では、それぞれの案件を審議し、委員会としての結論を得て、本会議で報告します。



小野商工会議所が小野市伝統産業会館の指定管理者になり、管理・運営を本年4月から5年間行うことになりました。

◎ 議会の動き ◎

【11月】

- 2日 小野市フットサル選手権大会
- 4日 議員協議会
総務文教常任委員会研修会
- 5日 小野加東環境施設事務組合議会
- 9日 小野市文化賞表彰式
- 12～14日 新生クラブ会派行政視察
(山鹿市・日田市・杵築市)
- 12日 大分県国東市行政視察受け入れ
- 14日 埼玉県さいたま市行政視察受け入れ
- 17～19日 明政クラブ・清風クラブ合同会派行政視察
(水戸市・古河市・千代田区)
- 19日 金婚夫婦を祝う集い
- 20日 地域振興常任委員会研修会
- 21日 兵庫県市町村職員退職手当組合定例会
下東条小学校英語活動研究発表会
- 23日 小野市ひまわり杯ジュニアバレーボール大会
- 25日 議会運営委員会
議会報編集委員会

【12月】

- 1日 本会議(第1日目)
- 3日 小野加東広域事務組合議会
- 11日 本会議(第2日目)
議会運営委員会
- 12日 本会議(第3日目)
- 14日 心あったかフェスティバル
- 17日 総務文教常任委員会・地域振興常任委員会・
民生保健常任委員会・議員協議会
- 19日 本会議(第4日目)
- 21日 小野市美術展表彰式

【1月】

- 6日 新年交歓会
- 8日 新春互礼会・匠工業会新年会
- 8日～9日 市町村議会議員研修(滋賀県)
- 12日 成人式
- 16日 市議会報編集委員会
- 19日～21日 市民クラブ・公明党合同会派行政視察
(大牟田市・大野城市・宇城市)
- 20日 宮城県石巻市議会行政視察受け入れ
- 25日 ONO RAN らん WALK
- 26日 三重県鳥羽市議会行政視察受け入れ
- 27日～28日 議会運営委員会行政視察
(北名古屋市・一宮市)
- 29日 エイジルネッサンスパーティー
- 29日～30日 市町村議会議員研修(滋賀県)
- 30日 東播・淡路市議会議長会総会

各常任委員会で研修会を実施しています

市の現状のみならず、自治体を取り巻く様々な状況についての理解を深めるため、定期的に研修を行っています。

総務文教常任委員会

小野市学校整備中期計画に基づく、旭丘中学校耐震改修工事の進捗状況を現場で視察。



民生保健常任委員会

家電4品目(テレビ・洗濯機・冷凍冷蔵庫・エアコン)のリサイクルの現状について、加東市の民間工場(株)パナソニックエコテクノロジーセンター)を視察。



地域振興常任委員会



小野商工会議所との合同研修で、会議所の事業概要や市内の産業の現状などについて研修。

3月定例会日程

3月定例会の日程が決まりました。

- 2月26日(木) 本会議(第1日)
- 3月9日(月) 本会議(第2日)
- 3月10日(火) 本会議(第3日)
- 3月26日(木) 本会議(第4日)

本会議の第2日と第3日は、議員の質疑、一般質問があります。



12月議会にも多くの方の傍聴がありました。

傍聴お待ちしております!!



実施中!! 小野市ホームページからご覧いただけます。

託児コーナー

3月9日(月)・10日(火)に開設します。

ご希望の方は2月27日(金)までに議会事務局までお申込みください。



お気軽にお申込みください